

この出き事を通して

ガガッ！ゴゴッバリーン！キャー！というものすごい轟音と共にその日大震さいちはや。てきてしまった。あまりにとつ然のことでゴワくなってしまった。たばくは、意味もなく、けいたいかとりを持って外へ出て道でうずくまりました。何か持っていないと心配だったのです。つらい日はその日だけではありませんでした。毎日学校へも行けず、外に出るのもあがなくて、大変でした。へみんな元気かなあ…その事を考える10日間でした。テレビでこんなことをやってみました。山古志村のある家です。ピカピカの新しく住宅。十日た。たばかりなのに、地震で地は人がくずれて家をだいなしにしてしまった。という人。それと名物のこいを育てている、こい養しよく人。地震で池がくずれ、大切な親ごいを亡くしてしま。た。という人もいます。よ震がなくな。て、今はごくまれですが

まだ家に住めなくて、仮設の日々をおくる人
だっています。そんな時、ぼくたちを支えて
くれたボランティアの方々をかんじ^ずしてい
ます。

こんなことが、まだまだ起るかもしれませ
ん。だから、その日にえなえているのも、と
ても大切だと思えます。